

# 脳卒中対策の充実急げ

川崎市

## 公明県議らも参加 基本法制定へ署名活動

特定非営利活動法人  
(NPO法人)全国脳  
卒中者友の会連合会川



署名活動を行う(左から)牧嶋、  
此村、沼沢、加納の各議員

崎支部(政時幸生代)の早期制定を求める署名活動を実施した。この中には公明党の此村善

人県議、沼沢和明・川崎市議、牧嶋秀昭、加納重雄の両横浜市議が応援に駆け付けた。

署名では、①政府や地方自治体、医療機関などが協力した、脳卒中発症後の迅速な受診体制の確立②発症から回復まで、継ぎ目なく最新の医療、リハビリ、生活支援が受けられる仕組みの全国的な整備の2点を柱とする基本法の制定を訴えた。

現在、脳卒中の治療法として、特に脳梗塞に有効とされる「t-PA療法」が注目を集

めている。これは、薬し国民の認知度が低い。日でも早い基本法の制定で血管内の血栓を溶かす、救急搬送体制も整っていないため、多くの患者に同療法を処方することができない。街頭署名を終えた此村県議は、「これからも友の会と一緒に脳卒中問題に全力で取り組んでいきたい」と語っていた。

3時間以内に治療を開始すれば、患者の約4割が後遺症を残さないと言われている。しか

た課題を指摘し、「こ

うし